

ン発行はいつの時期になるのか。1日何人程度接種できるのか。

得能係長 クーポン券は4月中旬位に発送する予定。4月下旬から5月連休明けに土日接種や平日接種、

両方の案を診療所と協議している。1日あたりの接種については、大体1百80人から2百人程度を想定している。

《農林水産費》

植村委員 有害鳥獣駆除は、1町で対策をしても、効果があるのか疑問である。近隣の自治体と捕獲料も含め統一していくような協議はしているのか。

野々村町長 天塩の国会議で議論することになったが、まだ開催の目的が立っていない。今後協議に向け、調整する。

高橋秀之委員 今年度の林政アドバイザーの給料が計上されていないが何故か。また、調査は何年かけてするのか。

山本課長 林政アドバイザーは、担当職員が研修を受

け、資格を取得してきたので、当面の間その職員が担っていく。林業の振興は森林組合抜きではできないので、組合と相談しながら5年度の事業計画を作る。

《消防費》

植村委員 地域防災計画の改定業務とハザードマップ作成作業に当たり、避難場所をわかりやすくしてほしい。

伊藤主幹 周知も含め、指摘された点について考えていきたい。



《教育費》

無量合委員 郷土資料館で展示替えを行い、本町の伝統を伝えていくべきではないか。

伊藤教育次長 他町村の学芸員の力を借りて展示替え等をしていこうと話している。

一般会計(歳入)

無量合委員 個人町民税の滞納繰越額の回収方法は、**村元係長** まず督促状を出す。次に催告書。それでも納付がない場合は電話連絡や臨戸訪問による徴収を行っている。更には、財産調査や実態調査を行って、財産を差し押さえるなど、納付してもらえよう体制を継続していきたい。

総括

佐藤委員 令和3年度の予算を見ても、町税等が年々減少している。人口減少等の諸々に備える必要性を感じるが、基金について町長の考えは。

野々村町長 基金が多ければ良いという話ではないが、交付税で成り立っているのが地方自治体である。一般会計の中で、どの程度基金を使いながら住民サービスを繋いでいくか提案しながら運営していくことが大切だと考えている。

西澤委員 執行方針内の拠点整備については「町民生活の利便性向上に繋がる機能サービスや施設の運営方式及び体制に加え、老朽化が進み、更新等を要する公共施設の現状など総合的に勘案して」とある。今年度検討調査をして、結論を出す意思があるのか。

野々村町長 数年間かけた時間は決して無駄ではなかったと考えている。話は見えてきたので、今後の公共施設の在り方に絞って議論し、方向性を見出したい。

西澤委員 学習支援をしているサポートクラブの運営がかなり難しくなっていると聞いている。関係者に話を聞き、支援できることがあれば早急に検討していただきたい。

木澤教育長 小さな支援かもしれないが、支援の内容等を具体的に聞いて進める。

国民健康保険特別会計

植村委員 特定健診の受診率を上げる努力が必要ではないか。受診意欲が湧くような取り組みは行わないのか。

長山係長 受診率を上げなければという認識はあり、対象者には文書送付や電話勧奨をしている。

国民健康保険診療所特別会計

無量合委員 副町長が事務長を兼務しているが、事務方が少ないと感じる。副町長の考えは。

岩川事務長 経費削減しなければならず、事務局が次長1人体制のような状態になっている。役場全体の人数・配置等も考えると、全体的に人数が少ないという状況もあり、職員全体の体制等と併せて考えていきたい。